

須恵町の事業者を応援！

SUESIDENT

未来構想、始動



須恵町

ONE TEAM SUE

企業と町がスクラム組んで、最強のタッグを

須恵町企業クラブ “新たな時代へ”

須恵町企業クラブ会長インタビュー

本音で語る! 須恵町 TALK

若手経営者3人とSUENOBA職員が思い描く未来

SUENOBA

ビジネスチャンスはここにある!



ONE TEAM SUE

須恵町 未来構想、始動



須恵町の復興と 企業クラブの誕生

須恵町は、昭和初期から30年代にかけて、石炭採掘依存型の産業構造でした。しかし、昭和39年6月国鉄志免炭鉱が閉山し、2万人の人口が昭和40年代には1万2千人に激減しました。そこで、須恵町は、過疎化脱却および産業構造の改革を目指し、工業団地造成、住宅団地開発などの政策を推進し、新たな産業構造の構築に着手しました。

その当時、工業団地に進出した企業により、異業種交流からビジネスを見据え、須恵町の復興に寄与することを目的に「須恵町企業クラブ」が結成されました。

須恵町および企業クラブによる相互連携協力により、昭和50年代には雇用促進と新しい産業構造が確立され、過疎からの脱却に成功し、人口も増加に転じました。

50周年を迎えた 企業クラブの「今」

須恵町は、住宅戸数、人口ともに増加しています。子育て支援などの施策が評価され、特に子育て世代の転入が顕著な町となっています。

そうした中、須恵町の発展に寄与し、現在の産業構造をけん引する「須恵町企業クラブ」は、設立50周年という節目を迎え、大きな転換期に差し掛かっています。

世代交代や事業継承、周辺環境の変化などの的確に対応しながら、須恵町との連携協力のさらなる強化を進めています。

ともに歩む企業 クラブと須恵町 の「未来像」

少子高齢化の影響により日本では既に人口が減少に転じ、将来

的には全国1700市町村のうち、50%もの市町村が消滅する可能性があると言われています。人口の減少や都市人口の偏りは、人材不足、地域マーケットの変化、技術継承、事業継承など、企業経営にも大きな影響を及ぼすことが予測されています。須恵町の企業においても、生き残りのための新たな技術開発やマーケットの開拓が不可欠です。

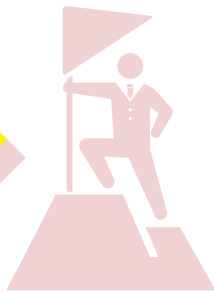
また、行政においても、時代に対応した新しい企業支援策を推し進めていくことが求められています。

ONE TEAM SUE

10年後を見据え、地域企業の活性化を目指すため、「須恵町企業クラブ」の結束をさらに強めるとともに、企業クラブと須恵町がさらに強固なスクラムを組み、「ONE TEAM」として活動することがこの厳しい時代を乗り越えるためにも必要不可欠であると考えます。

INNOVATION

全国初の
チャレンジ!
課題解決!
「稼ぐ力」創出!



須恵町とともに半世紀 そして、新たな時代へと



須恵町企業クラブは、50年の歴史を有する経済団体です。今日まで、企業の経営者同士が、ともに語りい、ともに親睦を深めて、それぞれの事業を発展させてきました。大切なのは、それぞれがど

ついう仕事をしているのかを理解することです。

会員が手掛けている事業内容を
知ること、より価値のある情報
交換ができるようになり、仕事で
つながり、異業種で協力し合っ
ていけるようになります。ひいては、
それが町の活性化につながって
いくとも考えています。

また、須恵町企業クラブは、町か
らさまざまな情報を提供して
いただいたり、活動のアドバイスを
いただいたりすることで、発想が
広がり、より充実した運営が可能
になっています。町長が地元企業
のことを考え、バックアップして
くださることで、須恵町企業クラ
ブのメンバーは町との一体感を
実感することができ、町に貢献
したいと強く思っています。町が
立ち上げた株式会社SUENOBA
とも連携して、広く浸透させて
いきたいと思いますし、期待も
しています。私の会社でも、株
式会社SUENOBAの事業協同組
合にお世話いただいて、ベトナム
からの技能実習生を受け入れて
いることが、人材不足の問題を
解決することができ、とても助
かっています。

今後は、新規事業の取り組みに



参加していきたいと考えていま
す。町のバックアップがあるとい
うことで安心して利用できますし、
積極的に活用していく予定です。

そして、今、須恵町企業クラ
ブは、時代の息吹を感じつつ新し
い風を吹き込んでいく中で、さら
に結束を高めていく必要性がある
と考えています。当面の目標とし
て、須恵町企業クラブの会員数を
100企業とするため、勧誘を
図っていきたく思います。若い
経営者の方々にも関心を持って
いただき、力を発揮していただ
けることを望んでいます。

また、入会なさっていない経営
者の皆さん、ぜひご入会いただ
いて、発足当時の先輩方の熱い
思いを受け継ぎ、一緒に前進して
いきましょう。須恵町をどこにも
負けない唯一無二の元気な町に
しましょう。



須恵町企業クラブ会長
株式会社若杉建設
代表取締役会長 若杉 良富

須恵町 企業クラブ

須恵町企業クラブは、須恵町に所在
する事業所によって、昭和46年4月に
設立された任意団体です。会員相互
の親睦、融和を図るとともに、相互の
事業発展を図ることにより、地域社会
の発展に努めることを主目的として
います。行政や地域住民との交流を積
極的に行い、他の地域ではできない自
前の地域づくりを進め、企業の繁栄
と地域の発展に努めています。

現在80数社の経済団体として、地
域の中に根付き、信頼関係を築き
ながら前進しています。

主な活動内容

- 会員相互の
情報交換会および親睦会
- 須恵町との情報交換会
- 日本赤十字社への献血
- 赤い羽根共同募金への寄付
- 先進地区への
企業見学、研修会
- 会員相互の親睦ゴルフ会

本音で語る! 須恵町TALK



ファシリテーター(進行)

株式会社SUENOBA
理事 北竹 康介



須恵町企業クラブのメンバーとして活躍する若手経営者の皆さんに、須恵町、須恵町企業クラブ、株式会社SUENOBAについて、本音で熱く語っていただきました。

異業種の情報交換に価値がある

「須恵町企業クラブ」、コンセプトの再確認を

長澤さん(以下、長澤) 須恵町って人口が少ないから、色々なものが「近い」と感じています。

吉田さん(以下、吉田) 人との距離は近いですね。

百田さん(以下、百田) 行政と企業がすごく近いと思います。

長澤 地域の中で事業経営をしている私達の距離も須恵町企業クラブ(以下、企業クラブ)という存在によって、とても近くなっているのと。

吉田 まず、それぞれの会社が町内で近いから行き来がしやすいですね。いろいろな情報交換しましょう、困った時は助け合いましょう、飲みましよう、みたいな感じで…。

百田 飲みましようって、ほんと、大きいんですよ。僕は、先輩たちにいる教えてもらっていて、なかなか公的に聞けないことを聞ける「集まり」というのはたいへんありがたいです。先輩たちからいただいた言葉で、会社を継続と決めました。

長澤 企業だけではなく、行政が関わってくれることによって、新しい情報加わり、違うジャンルの情報になっていく。そういう意味では企業クラブはすごくいいかもしれない。企業間の異業種交流というのは他にもたくさんありますが、企業クラブには他とは違うメリットがありますね。

吉田 もともとの設立のきっかけ

は、工業団地への誘致だったそうですね。今は企業クラブの目的が少しぼやけてきています。目的を理解している人がどれだけのいるのか、再確認の必要があると思います。新しく若い人たちに入ってもらうにしても、共通認識を持つことは大事なのだ。

長澤 そうですね、これって何の組織なのかっていうのがわかりやすいほうがいい。そのためにも、もう一度コンセプトを明確にして、周知させる必要がありますね。

協力したいのは、町への思いがあるから

吉田 でも、こういう会って他にはないですね。近所つきあいの企業版みたいな。

長澤 「和をもって尊しとなす」ですよ。仲がいいことがいちばん。それですごく大事ですよ。

吉田 うちが運送業でしょ。朝から晩まで町内を車が何台も走って、迷惑かけているなと感じています。だから、いろいろな組合や団体に入って、協力することで、地域に貢献していきたいという気持ちはありますね。

百田 僕も須恵町が好きだし、友達もいっぱいいるし、みんなでワイワイしたいという思いもあって加入しています。

長澤 そう、みんな、須恵町が好きなんですよね。仲がいいことで、余計なトラブルも避けられると思います。

経営者がつながる、心強い存在として

長澤 須恵町は小さい会社が多いので、やっぱり、社長さん個人で頑張っているにも限界がありますし、話を聞いてもらう人や、相談相手とかが必要ですね。そういう意味でも、企業クラブはすごく意義があります。人材問題とか、事業承継とか共通の問題を同規模の会社でぶつくと、ぼらんに話して情報共有することは、課題解決につながっていくと思います。

吉田 今の企業クラブには、一緒にやりたいことを探しながらやっていきましようという雰囲気がありますね。加入する企業にとって、さらに魅力ある企業クラブに作り変えていけると言うか、やりがいを感じられませんか。

長澤 そうですね。企業クラブはとも可能性がある団体だと思えます。昔、役所と企業が一緒にいるのはよろしくないということを言われていました。今はそんな時代ではないので、企業の悩み事を町に聞いてもらうばかりではなく、逆に、まちづくりビジョンを共有して、企業は果たすべき役割を考え、企業クラブで何か取り組んでいくことができる。須恵町全体がまとまるのではないのでしょうか。

世界でただ一つの機能、SUENOBAの活用を

百田 実際、平松町長になられて、企業支援というところに特に力を入れ

有限会社須恵塗装工業
取締役
ケイエルテック株式会社
代表取締役社長
百田 周平さん

てくださっていますよね。町と企業がいっしょに歩いていかないとまちづくりはできないということを明確に打ち出されています。

吉田 SUENOBAという新しい株式会社を立ち上げて、企業支援をしていこうということもそうですね。ただ、何をやる会社なのか明確にわからないし、はっきりとは伝わってこないですね。

長澤 これは、お互いの情報共有の欠如だと思えますね。SUENOBAの方は企業のサポートをしたいけど、何をしたいかわからない、僕らはSUENOBAっていったい何をしてくれるのかわからないということ。ここは必要なものを共有していけば、いろいろと前に進んでいくのだらうと思います。



吉田 情報共有。理解し合わないのだめということですね。

百田 SUEENOBAという会社は、須恵町にしかない新しい発想なので、世界で初めての事業をやっている位の勢いで打ち出していければ、魅力を感じるのかなと思います。それが何かと聞かれると今は僕らもよくわからないですけどね。

吉田 いいですね。知名度ですね。

ニーズにマッチする 求められるサポートを

長澤 中小企業の経営者って結構孤立していますから、情報も限界があるし、ネットワークも限界があると。Aだからできることが結構あると思

います。例えば、須恵町の多くの工場で、日本語があまり得意じゃない外国人の社員さんが働くようになった時に、まとめて日本語教室が開設されると、中小企業にとってはすごくありがたい。要は、孤立している中小企業の経営者が、なかなか個人では得られない情報やサービスをうまく届けることができるかと非常に価値があがると思いますね。

吉田 長澤社長が言われたように、中小企業には総務がしっかりあるわけでも、秘書がいっぱいいるわけでもないで、社長が自ら片手間でいろいろやったりしますよね。例えば、SUEENOBAがそれを一括代行してくれるとか、書類まで作ってくるとかいうことができればありがたいですね。

長澤 それこそ、社員教育とかって、小さい所は絶対に手が回ってないですから。これは企業が成長する上で、本当に考えないといけないことだし、総務的な役割、教育、コミュニケーション、大切ですね。

吉田 そうですね。法律がいろいろ変わって、労務管理とかも変わってきてわかりにくいからですね。

百田 労務管理って、対応していくのが大変です。

吉田 あと、事業に関する色々な問題は起きてしまうと、弁護士さんとかにお願いしてすぐ対処しないといけない。本当はその前に知りたいけど、専門的な所はわからないことが多いですね。

長澤 私たちが要求しないことも原

因ですが、諸題への対処など必要最低限なつながりしかないように思います。

百田 本当は会社経営における「予防」や「戦略」をお願いしたいところです。

吉田 たとえば、自分が困っていて、労務士さんを紹介してほしいとSUEENOBAに相談したら、会員さんの中でマッチングしてもらえるとかなりますか？

長澤 それは、土業の人にとっても、すごくありがたいと思いますよ。

吉田 困ったことが起きたって言うってSUEENOBAに来たら、弁護士さん、労務士さん、すべて紹介してもらえて、一つのチームで対応してもらえると。その代わり、お金はかかるということでも問題はないわけですか、本当に助かりますよね。

百田 あと、須恵町の中で異業種のマッチングができればいいと思います。マッチングで苦労している場合も多いので。土業の話にしても、須恵町の中で循環できれば最高ですね。

長澤 マッチングはとても重要だと思いますね。今、提案されたように、SUEENOBAのあり方が明確化されれば、おそらく企業クラブに入るメリットのプラスαとして、SUEENOBAがくっついてくるという構図ができるのではないかと思います。

中小企業の役場のよう 役割を担えるように

長澤 公的な信用があり、各企業がさまざまな問題を相談できる場所。

企業版の役場みたいな感じですね。

百田 それは新しいですね。先たちが築いてきてくれたので、私たちがこつやって仲良くなれて、須恵町企業クラブがあって、SUEENOBA Aがあって…企業さんの役場、いいですね。

長澤 価値があれば費用も納得できます。SUEENOBAの経営も成り立っていきますよね。

吉田 企業クラブでつながりを深めて、お互いの企業を発展させていく。SUEENOBAは企業のさまざまな問題を解決する策を模索し、リストに添えていく。それだったら、存在意義はともありますね。

長澤 SUEENOBAの中で機能している事業協同組合に関しても、現在、電気、ETC、技能実習生など多くの事業がなされています。そこにも企業クラブが関わって、企業クラブから直接ニーズを提供すれば、さらにオリジナリティのある事業ができると思いますよ。ニーズを聞く耳が新たな事業を生む。私たちがそばにいますから、そこからリアルに聞けますよね。

おそろくこれからの時代はこういうものが必要とされていくだろうから。生のニーズに応えるというのが大事なのではないでしょうか。

吉田 まずは、できるかできないかは別にして、みんなが同じ方向性を持つことが重要だと思います。

百田 方向性がしっかりあった方がいいですね。

長澤 方向性がはっきりしていれば

ばどう進めればいいのかを考えればいだけになるから、楽だと思います。

吉田 須恵町、企業クラブ、SUEENOBAと、明るい未来への展望がどんどん広がりますね。経営者の皆さんには、ぜひ企業クラブに入って、一緒にいろんな知恵を出し合って、明日を切り拓いてほしいですね。

長澤 そうですね。今、まさに、新しいものを創り上げていく段階に来ているので、一緒に盛り上がっていきましょう。面白みがありますよ、絶対に。

百田 はい、楽しく頑張っていきたいと思います。先輩方よろしくお願ひします。



新たな視点で、新たな価値を

町長の想い

須恵町町長
平松秀一

平素より、株式会社SUENOB Aへの格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。
須恵町は、昭和初期から30年代に炭鉱で栄えてきた町です。しかし、昭和39年に閉山という大きな打撃を受けて、人口が大幅に減少しました。産業構造



がすべて変わり、町が疲弊していく状況で、当時の原田昇町長を中心に企業誘致と団地造成を推進。それと合わせて昭和40年代になり、高度経済成長に入っていました。そうした中で、須恵町はこの町で起業していただいた企業の皆さんや、この町に移住してきていただいた皆さんのご支援で力をつけてきました。企業の皆さんは、商工会とは別に、異業種で情報交換を行う、今で言うイノベーションを起こす集まりとして須恵町企業クラブを設立。町とつながりながら発展していこうという、積極的な姿勢で歴史を積み重ねてこられました。

これは皆さんの方がご存知だと思いますが、ここ10年で国内消費は確実に冷え込んでいます。製造業分野、あるいは建設業分野においても、仕事が減っていくであろうと言われていました。さまざまなアナリストの方とお会いしたり、さまざまな研修を受けたりして、お話しする中で聞かえてくるのが、この先10年以内に、日本全国で大体250万社の中小零細企業が、倒産だけではなく、廃業なさっていくだろうという予測です。

この国を支えているのは中小零細企業であることは、間違いありません。須恵町は、その標本のような町です。何もしなければ、ほとんどが中小零細企業の須恵町の企業も減るといふこととなります。そうなれば必然的に、須恵町の付加価値がなくなると、魅力のない町になっていくに違いありません。

ん。それを止めるには、どうしたらいいか。やはり経営面から企業をしつかり支えていくことだと考えます。中小零細企業の繁栄なしに、町を存続させることはできません。

そういった視点に立った時に重要なのは、企業と町が一つになることではないでしょうか。須恵町は、ワンチームです。企業の皆さんと同じ土俵で危機感を共有しながら、町は企業に支えられているという一体感を持って、道を拓いていきます。

須恵町では、須恵町商工会と須恵町企業クラブにご相談して、平成29年9月に100%出資し、株式会社SUENOB Aを設立するとともに、平成30年6月に須恵町商工会議所、須恵町企業クラブとSUENOB A事業組合を設立いたしました。オープンイノベーションセンターSUENOB Aを運営し、異業種マッチングなどの企業交流や経営セミナーなど、新たなビジネスチャンスの場としてご利用いただいています。

ともにスクラムを組んで、10年後に来るであろう大きな荒波に飲まれないように、ともに前進していけることを願っております。今後とも、変わらぬご理解、ご支援をお願いいたします。



10年後を見据えた
地域企業の
活性化を目指す

町の企業を支援します！



SUENOBAは、「行政の信用と民間のノウハウを集約する場」として誕生しました。

須恵町が100%出資した株式会社SUENOBAが運営を行い、【企業支援サービス】と【須恵町独自の稼ぐ力の拠点】の2つの目的を備えています。

SUENOBA活用メリット

企業マッチング

各企業の「強み」「弱み」を把握し、事業内容に応じて企業間を繋ぎ、新たなビジネスチャンスを支援します。

新規創業支援

オフィス利用・交通の利便性、生活コストなどの経済的な支援をします。(SUENOBAでの開業経費は約40万円で、福岡都市圏と比べ、コスト削減につながります。)

合同展示会開催

イノベーションセンターSUENOBAなどのスペースを活用し、セミナーの開催や個別・共同での展示会・販売会を実施します。

優遇税制・助成金

法人税・町民税の軽減や、手間のかかる助成金申請を代理で行うことにより、時間の有効活用を支援します。

国際支援

外国人技能実習生(SUENOBA事業協同組合)

「外国人技能実習制度の適正運用を実施するために、須恵町の行政サービスとの連携を行います。」

東南アジア進出支援

技能実習生と受入企業や地域の交流を深め、企業間のビジネスマッチングを行います。新たなビジネスの創出と東南アジアへの企業進出の支援を行います。

コスト適正化

各種コンサルティンク

地域企業の経営効率化を目的に、社会保険料の適正化、事業承継支援、M&A、相続対策などのごさまざまな経営支援策を提供します。

共同購買

電力コストの削減、ETC割引サービスなどによるコスト適正化を推進します。(SUENOBAでんき・SUENOBA ETCその他物品やサービス)

施設内サービス内容

- 専用駐車場完備
- 法人登記
- 各種セミナー利用
- フリードリンク
- 固定資産税優遇措置などの補助
- SUENOBA施設内利用(5時間/月)
- コピー・FAX利用(10円/枚)
- 施設内Wi-Fi、電源利用
- SUENOBA CSR協賛特典

イノベーションセンターSUENOBA内に

福岡の拠点を置くことが可能です。

(SUENOBA内に事業者登録が可能)



TEL: 092-957-9911
FAX: 092-957-9912

〒811-2113 福岡県糟屋郡須恵町大字須恵804番地1
OPEN 9:00 - CLOSE 18:00(定休日:土日祝日)

SUENOBA
お問い合わせ先

■ 須恵町商工会 (須恵町企業クラブ事務局)

〒811-2114 福岡県糟屋郡須恵町大字上須恵1167番地
須恵町カルチャーセンター内
TEL 092-932-6700
FAX 092-932-8084
URL:<http://www.sue-sho.com/index.html>



■ SUENOBA

〒811-2113 福岡県糟屋郡須恵町大字須恵804番地1
OPEN 9:00—CLOSE 18:00(定休日:土日祝日)
TEL 092-957-9911
FAX 092-957-9912
URL:<https://suenoba.co.jp/>



■ 須恵町

〒811-2193 福岡県糟屋郡須恵町大字須恵771番地
TEL 092-932-1151(代表)
FAX 092-933-6579
URL:<https://www.town.sue.fukuoka.jp/>

